



「お金の貸し借りはしない」

友達との関係の中で、注意しなければならないことがあります。それはお金の貸し借りです。誰もが、友達が困っているときは手を差し伸べてあげると思います。それが友達です。友達に助けられた経験は誰にでもあると思います。ですから、友達が困っていたら自分も助けてあげましょう。お互い様です。お互い様の関係が友達だと思います。しかし、困ったら助け合う関係ができて友達だからこそ、考えて行動しなければならないことがあります。それはお金を借りることです。「お金貸してもらえないかな？後で返すから」と言われたら、「いいよ。貸してあげるね」と友達だからお金を貸してあげることもあると思います。借りた友達が、その日の内か、遅くても返す約束の日には返してくれればよいのですが、友達だという甘さで、「少し待っててね、来月には返すから」と返済日を伸ばして欲しいと言ってくることもあります。「いいよ、来月に返してね」と返却日を伸ばしてあげることもあるでしょう。このように友達に甘えようとするればいくらかでも甘えられます。自分もお金を必要として、お金を貸したくなかったのに、友達なので無理して貸していることもあるかもしれません。返済日を伸ばされるのは、誰でも嫌なはずですが、でも友達の言うことだから、我慢することもあると思います。このように、友達という関係に甘えてお金を借りてはなりません。逆に仲の良い友達だからこそ、「お金の貸し借りはしない」とけじめをつけられる人になってほしいです。

「お金を人から借りない」ということを覚えておいてください。お財布を忘れてお金がない。お財布を落として

お金がない。などの緊急な時もあるでしょう。やむを得ず友達から、お金を借りることがあったら、次の日には確実にお礼を言って返しましょう。友達だからこそ、何よりも早く返さなくてはなりません。なぜなら、お金の貸し借りは甘えてはいけないことだからです。

お金を借りると、それが癖になってしまう人もいます。そうなってしまうと、気が付くと大事な友達から信頼を失うことにもなりかねません。お金の貸し借りには十分注意してください。「金の切れ目が縁の切れ目」という諺があるくらいですから。



